

計画情報適用の流れ

計画情報はアフター対応を管理する「案件データ」を自動作成するための前提となる点検サイクル(例：引渡し後、2年・5年・10年)を作成する機能です。本機能で計画情報を作成し、物件単位で計画情報を適用することで、次のことが行えます。

- ・自動で案件データの作成（物件情報に登録された引渡し日を軸にした点検サイクルで、案件情報が作成されます）
- ・物件担当者（または案件対応者）割当てと、案件データに実施予定開始日を入力することで、対応者宛にアラームメールの送信。
- ・定期点検チェックシート機能の利用。

※アラームメールを受信するためには、各IDでの「メンテナンスアラームの受信設定」と「アラームメール」機能の設定が必要になります。詳細は別マニュアル「ユーザー情報登録」と「アラーム」を参照ください。

計画情報適用の流れ(一例)

以下のような流れで、作成した計画情報を適用します。各事業者様の運用にあわせてどの機能を、いつのタイミングで誰が操作するかなどご検討ください。

